

機器接続マニュアル



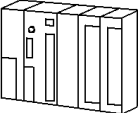



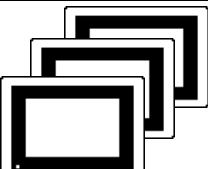
機器接続マニュアルに関する注意事項

本書を正しくご使用いただくために、ご使用前に必ず「マニュアルPDFをダウンロードする前に」をお読みいただき、「はじめに(商標権などについて、対応機種一覧、マニュアルの読み方、表記のルール)」マニュアルをダウンロードしてください。ダウンロードされたマニュアルは、必ずご利用になる場所のお手元に保管し、いつでもご覧いただけるようにしておいてください。

6.2 JPCN-1 標準

PRO/PB での「PLCタイプ」は< JPCN-1 標準 >を選択してください。

6.2.1 システム構成

CPU	リンク	結線図	使用ケーブル	ユニット	GP
					
JPCN-1対応PLC	JPCN-1対応リンクユニット	結線図1	RS-422	JPCN-1 I/F ユニット (GP070-JC11) Rev. A以降のみ*2 入出力転送のみ	GPシリーズ*1

*1 詳細につきましては**参照** 本マニュアル6.1 接続可能な PLC 一覧 JPCN-1 I/F ユニット対応のGPシリーズ一覧を参照してください。

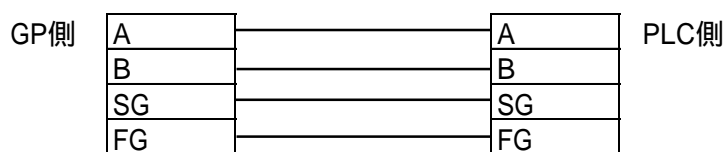
*2 *印のついている位置のアルファベットがユニットのRev(リビジョン)を示します。

Rev(リビジョン)シールは、ユニット本体に貼付されています<右図>。

Rev. *BCDEFGHIJ
KLMNOPQRST
UVWXYZ 123

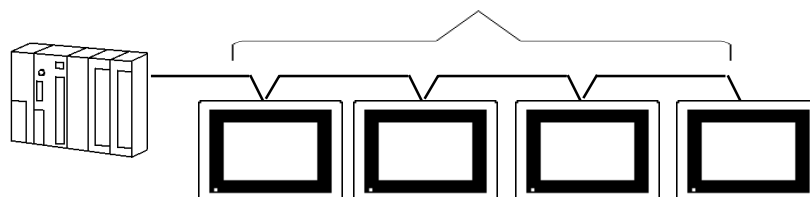
6.2.2 結線図

< 結線図 1 >



- 重要**
- ・ PLC 本体の FG 端子は D 種接地を行ってください。詳細は PLC のマニュアルをご参照ください。
 - ・ 伝送ケーブルのシールド線は、一括して PLC 側の FG に接続してください。

スレーブ最大 31 台 / 1 ネットワーク接続可能



6.2.3 環境設定例

GP 側の通信設定を示します。

JPCN-1(標準)

JPCN-1(標準)プロトコルでは入出力転送のみをサポートしています。メッセージ通信は使用できません。

JPCN-1 で I/O 通信を行うためには以下の設定が必要です。

< 伝送速度及び I/O 通信の設定 >

GP のオフラインモードで初期設定時に伝送速度及び I/O 通信の設定を行ってください。

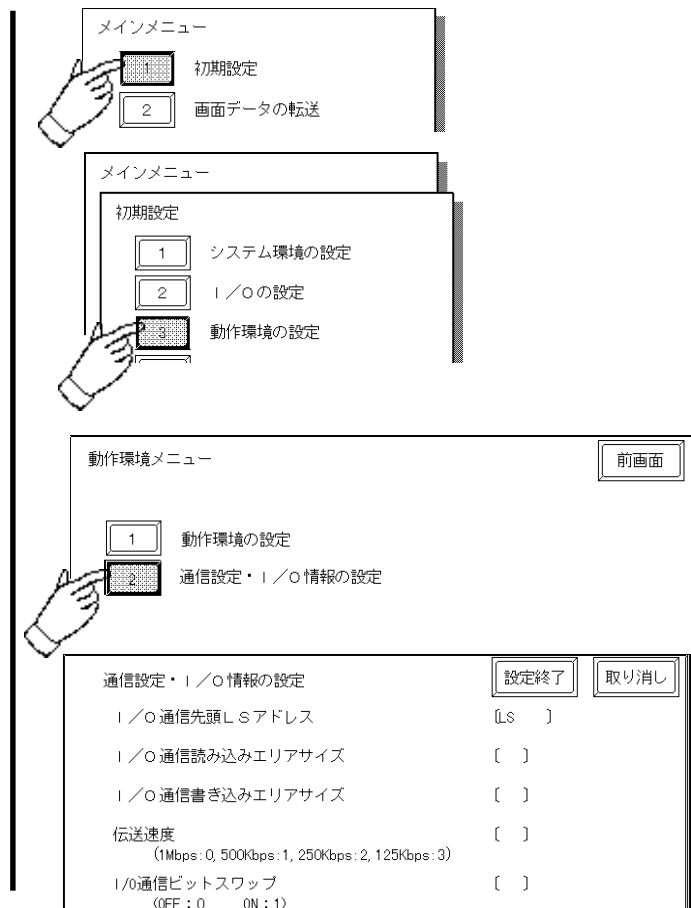
GP 側

「初期設定」を選択します。

「動作環境の設定」を選択します。

「通信設定・I/O情報の設定」を選択します。

伝送速度で、速度の選択をします。
伝送速度 = デフォルト 0(0=1Mbps)



- ・通信設定においては伝送速度のみです。
- ・「初期設定」の「I/Oの設定」の通信設定は無効です。

I/O 通信を使用するために以下の設定をおこないます。

- I/O 通信先頭 LS アドレスを設定します。(LS20 ~ LS1999)
- I/O 通信書き込みエリアサイズを設定します。(0 ~ 64 ワード)
- I/O 通信読み込みエリアサイズを設定します。(0 ~ 64 ワード)

重要 ・システムデータエリア(LS0 ~ LS19)への割り付けはできません。

ビットスワップの設定をします。(OFF または、ON)

ON に設定すると MSB < 最上位ビット > と LSB < 最下位ビット > を反転させます。
ご使用の PLC の仕様とあわせてください。

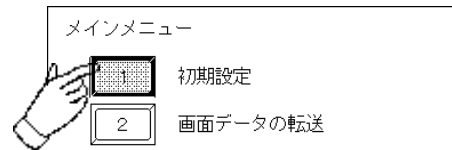
PLC 側

各 PLC メーカーの JPCN-1 通信ユニットのマニュアルをご参照ください。

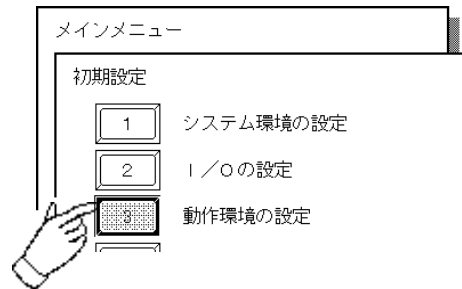
<ステーション情報の設定>

GP 側

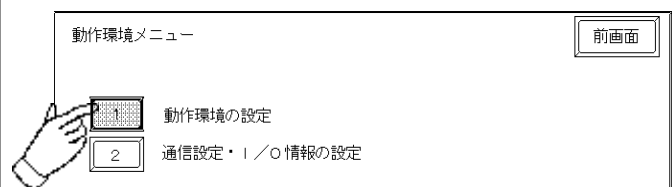
「初期設定」を選択します。



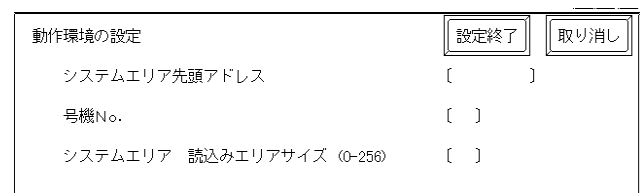
「動作環境の設定」を選択します。



「動作環境の設定」を選択します。



号機NO.(ステーション番号)を設定します。(1 ~ 127)



・号機NO. 以外の設定は無効です。

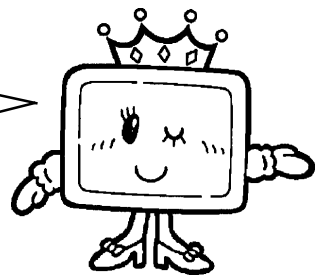
PLC 側

各 PLC メーカーの JPCN-1 通信ユニットのマニュアルをご参照ください。

重要 ・ PLC 側の設定は、各 PLC メーカーの JPCN-1 通信ユニットのマニュアルをご参照してください。

MEMO

このページは、空白です。
ご自由にお使いください。



6.5 I/O通信について

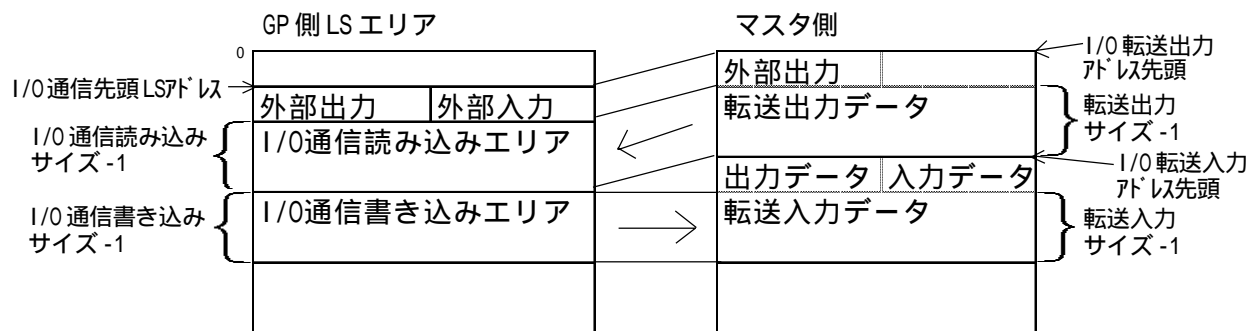
設定範囲

I/O通信先頭LSアドレス	(LS20 ~ LS1999)
I/O通信書き込みエリアサイズ	(0 ~ 64ワード)
I/O通信読み込みエリアサイズ	(0 ~ 64ワード)

通信方法

I/O通信先頭LSアドレス+1からLSデータの内容をI/O通信にて転送されます。

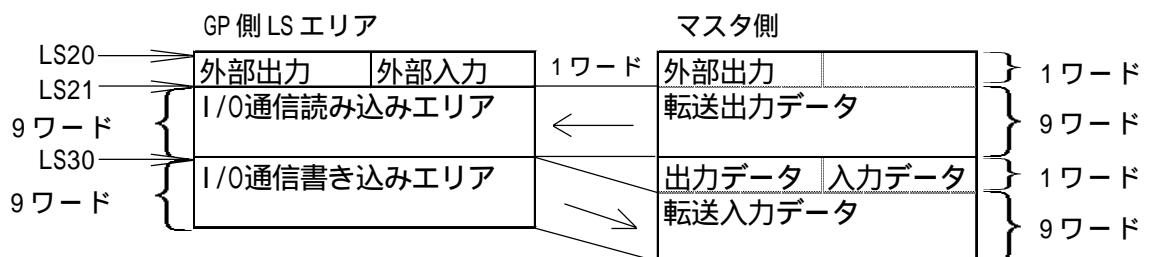
I/O通信先頭アドレスの先頭の1ワードは外部入出力I/O(DI0)として、JPCN-1ユニット上の外部入出力をアクセスできます。



設定例を以下に示します。

(例)

- ・ I/O通信先頭LSアドレス・・・LS20
- ・ I/O通信書き込みエリアサイズ・・・10ワード
- ・ I/O通信読み込みエリアサイズ・・・10ワード



外部入出力(DI0)について

< DI0 入出力点数 >

入力 8点

出力 4点(下位4ビットのみ有効)

< DI0 へ出力 >

DI0へ出力するデータは、外部出力 (I/O通信先頭アドレスの上位8ビット)と外部出力 (マスタ側のI/O転送出力アドレス先頭の上位8ビット)をORした値を外部出力としてDI0へ出力します。

- 重要** ・ PLC側でONしたビットはGP側でOFFにはできません。同様にGP側でONしたビットはPLC側でOFFにはできません。また、PLC側でON/OFFしてもLSエリアに反映されませんので、画面上で参照することはできません。

< DI0 からの入力 >

DI0からの外部入出力の入力データは、LSの外部入力エリア(I/O通信先頭アドレスの下位8ビット)にセットされます。

< DI0 の入出力データについて >

DI0へ出力したデータとDI0から入力されたデータは、マスタ側のI/O転送入力アドレスの先頭にもセットされます。

- 重要** ・ I/O通信のエラーは、GP画面には表示されません。JPCN-11/Fユニット上のLEDで確認してください。